

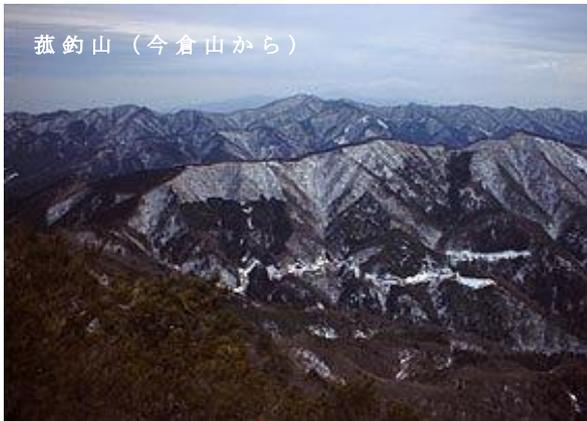
作者プロフィール

柚木 文夫氏

千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒

元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

菰釣山 - 静寂の雪山 -



菰釣山 (今倉山から)

ようやくトソ気分も抜けた1月中旬、仲間数人と、丹沢山塊西端の山・菰釣山(1379m)に出かけた。



登山道入口

国道413号を走り、道の駅「どうし」の駐車場に車を置く。駐車場がしっかり除雪されているのが嬉しい。

入念に冬山支度を整えて9時出発。道志の森キャンプ場への林道をたど

る。車に踏まれた林道が怖い程にテロンテロンに凍り、途中早々にアイゼンを着けた。

10時半、西沢登山道入口。ここから雑木林の中の急登が始まる。積雪20~30cm。ラッセルを心配したが、ここ数日の登山者の踏み跡が残っており、



深雪のラッセル

有難くトレースをたどらせていただく。それにしても

急斜面のあちこちに大きなバケツが掘られ、先客がラッセルにもがき苦しんだ痕跡が見てとれ、申し訳ない思いである。

枝に結ばれた赤テープを頼りにトレースをたどる。沢を3回程越え、次の滝状の急沢を右に左に渡り返しながらかつめていく。結構キツイ傾斜である。最後は恐ろしい程の急傾斜のトラバースになり、倒木を乗り越え、立木を這い潜るルートになるが、赤テープの標識を信じて前進あるのみである。

11時半、ようやく稜線に飛び出し、菰釣避難小屋を見つけてホッとした。後はパウダースノウを踏みながらブナ林の尾根道の緩やかな登りで、菰釣山頂12時10分到着。ブナ林の中、音もなく雪の降りしきる山頂は、静寂そのものだった。

頂上に5分程滞在した後は元の避難小屋に戻り、ガンガンとバーナーを焚いて賑やかに昼食休憩をとった。こういう時の熱々の豚汁は



山頂(1)



山頂(2)



避難小屋

何物にも替えがたいご馳走である。

朝と同じルートを下り、駐車場帰着が午後3時半。例によって村営温泉「道志の湯」にいつもの立ち寄り湯。そして

運転者には悪いが、つい誘惑に負けて湯上がりのビールをいただいた。



道の駅「どうし」